

令和7年度沖縄県総合防災訓練



理事 出口 宝

令和7年10月19日に令和7年度沖縄県総合防災訓練が開催されました。本訓練は災害対策基本法48条及び沖縄県地域防災計画に基づいて実施されています。大規模地震及び津波発生を想定し、防災訓練を通じて、災害時における各防災関係機関の適切な役割分担と相互に連携協力した実効性ある対応方策を確認するとともに、災害発生に備え、平時からの防災関係機関等相互の連携強化を図ることを目的としています（県実施要綱）。今年度は南部圏域14市町村での開催となり、主会場を那覇市民体育館として、南部圏域の各市町村会場で97団体が参加して実施されました。本会からはJMATと警察医会が参加しましたので報告します（表1）。

1. 訓練想定

訓練想定は、「沖縄県地震被害想定調査（H25）」における沖縄本島南東沖地震3連動の想定及び「沖縄県津波浸水想定について（H27）」等を基としています。令和7年10月19日（日）午前12時00分（正午）頃、沖縄本島南東沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、沖縄本島において震度6強を観測。この地震による建物倒壊、土砂災害、津波等により甚大な被害が発生。なお訓練上では今回は南部地域のみ被害が集中した想定となっています。

2. 訓練内容の概略

訓練の主な項目は、救出救助、災害医療、避難、遺体収容検視訓練とし、(1) 防災関係機関と連携した地域の救援・受援体制の整備（救出救助）、(2) 自主防災組織や消防団、地域住民との協働による地域防災力の向上（避難所訓練）、(3) 県・

表1. 訓練参加者（敬称略）

那覇市避難所 JMAT 派遣訓練

医師	嘉数 朗（那覇市医師会理事）
看護師	常住 実穂 （看護協会 / ゆずりは訪問看護ステーション宜野湾）
口ジ	前泊 政次（那覇市医師会）
口ジ	石垣 里樹（那覇市医師会）
口ジ	山川 宗矩（県医師会）

南風原町避難所 JMAT 派遣訓練

医師	譜久原 弘（南部地区医師会理事）
看護師	原國 政直（看護協会 / 浦添総合病院）
口ジ	池宮城 亮太（南部地区医師会）
口ジ	中川 勝太（南部地区医師会）

県保健医療福祉調整本部訓練

医師	仲村 尚司（理事）
口ジ	新垣 昭吾（県医師会）

遺体収容・検死訓練訓練

医師	山城 千秋（警察医部会）
医師	今井 千春（警察医部会）

南風原町訓練協力

医師	出口 宝（理事）
口ジ	玉城 侑花（県医師会）

市町村等の災害対策本部機能の強化（情報伝達訓練）、(4) 災害時応援協定機関等との有機的な連携（災害拠点病院・SCU訓練）などが各市町村会場で開催されました（図1）。

3. 医療部門の訓練項目

医療部門は、①本部訓練（沖縄県保健医療福祉調整本部、南部地区DMAT活動拠点本部、那覇地区DMAT活動拠点本部）、②多数傷病者受け入れ訓練（南部医療センター）、③SCU訓練（東風平運動公園）・洋上SCU訓練（海上自

収容・検視訓練（那覇市民体育館）には警察医部会が参加しました（図9）。

5. 所 感

南部圏域は空港と港湾を有しており、中核市、ベットタウン、農村漁村、そして小規模離島など多種多様な特性のある地域から構成されています。大規模災害時にはそれぞれで必要とされる対応が異なる部分もあり、訓練でも各関係機関が連携した様々な実動訓練が行われました。一方、どの地域でも必要となるのが避難所です。そして避難所運営で重要なのが「防ぎえた災害死」と「災害関連死」の防止です。そのためには、早期からの保健医療チームの介入が重要です。

本会は沖縄県総合防災訓練において毎年JMATが参加してきました。本訓練は県内5圏域を順番に毎年開催されますが、5年の間に市町村担当者は変わります。そのため担当部署では避難所や訓練のイメージが持てず何をしても良いのかわからない場合もあります。そこで、毎回、本会から開催市町村に対してJMATも参加する避難所設置運営訓練の実施を呼びかけてきました。当方からの押しかけに近い形になることもあります。働きかけをしなければ先方から医師会に具体的な依頼が来ることは稀です。JMATにとっても実動訓練は重要です。

今回も当初は両市町とも避難所開設・住民避難訓練の想定はされていましたが、医療チームと連動する具体的な内容は想定されていませんでした。そこで、当方から8月13日に南風原町と那覇市を訪問して医師会と連携した訓練の実施を働きかけました。続いて、9月30日に両市町行政担当者や保健師など関係者との勉強会と訓練打ち合わせを行いました。さらに、南風原町からは本会に対して訓練全体への協力依頼があり、JMAT派遣とは別に小職らが南風原町訓練への協力を行いました。訓練の終了後には、那覇市ならびに南風原町の関係者から、医師会が協力しJMATが参加したことで大変良い訓練ができたとの感想を頂きました（図10, 11）。

訓練参加は災害時において大切な「顔の見える関係」の構築になります。さらに、今後も医



図3. JMAT 調整本部で派遣指示を受ける JMAT (那覇市医師会)



図4. JMAT 調整本部で医療班登録をする JMAT (南部地区医師会)



図5. 那覇市真地小学校避難所



図6. 南風原町総合保健福祉防災センター避難所



図 7. 那覇市真地小学校避難所での保健師らとミーティング (那覇市医師会)



図 8. 南風原町総合保健福祉防災センター避難での保健師らとミーティング (南部地区医師会)



図 9. 遺体収容・検死訓練 (那覇市民体育館)



図 10. 南風原町訓練における講評と意見交換会 (南風原町総合保健福祉防災センター)

師会の方々と連携していきたいとの言葉も頂きました。地域における災害訓練への参加は「地域に根差した医師会活動」の一つとしても重要であることを再認識しました。

次回は、昨年度の大雨災害の対応で中止となった北部圏域での開催予定となっています。よろしく御願ひ致します。

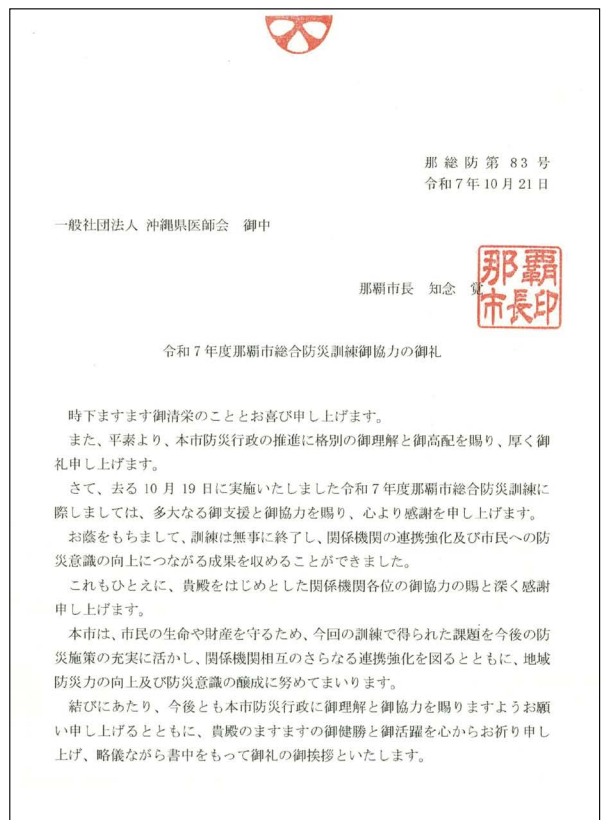


図 11. 那覇市からのお礼状